

戦略的創造研究推進事業
(社会技術研究開発)
平成27年度実装活動報告書

研究開発成果実装支援プログラム
「高齢者の生きがい就労システムの社会実装」

採択年度 平成25年度

実装責任者氏名 辻 哲夫

(東京大学 高齢社会総合研究機構、特任教授)

1. 概要

(1) 実装活動の目標

[最終目標]

“セカンドライフの支援組織”として日本全国のシルバー人材センター（以下、センター）が広く国民から支持されるようになること。センターが社会的に有効に機能することで、誰もが退職後のセカンドライフの不安を覚えることなく、年齢に関わらず活躍し続けられるような未来社会を実現すること。

[H27年度活動目標]

- ① 柏市センターにおけるジョブコーディネータの配置と活動実践（H26年度より継続）
- ② 他地域センターとの連携（H27年度着手）
- ③ ジョブコーディネータ活動のマニュアル化（H27年度完成）
- ④ センターのあり方・機能拡充に関する比較研究（H26年度より継続）

(2) 実施項目・内容

① 柏市センターにおけるジョブコーディネータの配置と活動実践

千葉県柏市シルバー人材センター（以下、柏市センター）では、H26年度にジョブコーディネータ（以下、JC）2名を配置することを通じて、従来のセンター業務を生きがい就労にまで拡張する取組みに着手した。H27年度には、JC2名への依存度が大きかった活動を、柏市センターに内製化することに重点を置いた。

② 他地域センターとの連携

柏市センターにおいて取り組んできたJCの配置と活動実践の成果を他地域展開するため、神奈川県茅ヶ崎市シルバー人材センター（以下、「茅ヶ崎市センター」）及び茅ヶ崎市役所との連携を推進した。

③ ジョブコーディネータ・マニュアルの作成

柏市センターや茅ヶ崎市センターにおける生きがい就労の取り組みを整理し、他地域で同様の取り組みを展開する際の参考とできるよう、生きがい就労の実装やJCの活動過程をまとめた「生きがい就労実装マニュアル」を作成した。

⑤ センターのあり方・機能拡充に関する研究

柏市センター、茅ヶ崎市センター、横浜市センターで窓口（プラットフォーム事業）の運営に取り組んでおり、それぞれの事業スキームを比較研究した。

また、全国シルバー人材センター事業協会が公表している全国のシルバー人材センターの統計資料に基づく傾向分析を行い、都市部で粗入会率を伸ばしているセンターや、先進的な取り組みを実施しているセンターを抽出し、ヒアリングを実施した。

⑥ 厚生労働省への報告・働きかけ

厚生労働省と、柏市・茅ヶ崎市・横浜市の各センターを交えた情報交換を実施した。

2. 実装活動の具体的内容

(1) 当該年度における実装活動の進め方

H27年度は、以下のスケジュールのとおり、柏市センターにおけるJCの活動継続（①柏市センターにおけるジョブコーディネータの配置と活動実践）、茅ヶ崎市センターにおけるJCの配置（②他地域センターとの連携）、生きがい就労の実装やJC活動のマニュアル化（③ジョブコーディネータ・マニュアルの作成）、柏市センター・横浜市センター・茅ヶ崎市センターでの事例研究や全国のセンターに関する傾向分析（④センターのあり方・機能拡充に関する研究）、厚生労働省を交えた情報交換会の開催（⑤厚生労働省への報告・働きかけ）に取り組んだ。

項目	平成25年度 (6ヶ月)	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (6ヶ月)
生きがい就労機能のセンター内への実装化具体計画策定	←→			
ジョブコーディネータの採用・育成プログラムの策定	←→			
柏市センターにおけるジョブコーディネータの配置と活動実践	←事前準備→	←→	(必要に応じて継続)	←→
他地域センターとの連携 ⇒ジョブコーディネータの配置と活動実践	←事前調整→	←→	←茅ヶ崎市センターでのJCの活動実践→	(必要に応じて継続)
ジョブコーディネータ活動のマニュアル化		←→	←→	←→
センターのあり方・機能拡充に関する研究		継続的活動	←柏市センター、横浜市センター、茅ヶ崎市センターでの事例ベースでの検討→	(必要に応じて継続)
厚生労働省への報告・働きかけ		←→	継続的活動	←→
まとめ				←→

(2) 実施内容

① 柏市センターにおけるジョブコーディネータの配置と活動実践

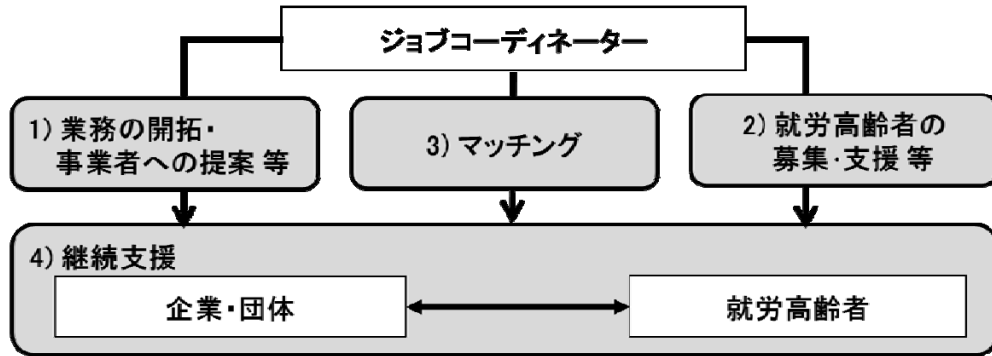
[H27年度計画概要]

- ・ H27年度は、既存のJC2名が新規雇用のJC 2名のOJT教育を担当し、業務の柏市センターへの内製化を図り、活動の自立化を図る。
- ・ 過年度と同様に柏市センター、柏市、東京大学高齢社会総合研究機構（以下、IOG）の3者による協議の場を月1回程度設置し、「今後のセンターのあり方、向かうべき方向性」を関係者で引き続き共有しながら、生きがい就労事業を展開（実装化）する。

[H27年度実施事項]

- ・ H27年5月には新たに2名のJCが柏市センターによって雇用され、JCは計4名体制となった。新旧のJCが協力しながら、1)業務の開拓・提案、2)就労高齢者の募集・支援、3)マッチング、4)継続支援の各分野での活動実践を行い、JC2名への依存度

が大きかった活動を、柏市センターに内製化することに重点を置いた。



- 具体的には、1)については福祉施設等との連携による社会貢献性や地域貢献性の高い業務の開拓や企業向け営業ツールのブラッシュアップ、2)については柏市が市役所内に設置したセカンドライフ応援窓口との連携強化による新規会員の獲得、3)については派遣事業の契約実績の大幅な伸び、4)については既存会員も対象とした人材データベースの構築や女性会員向けの入会説明会の開催などで、一定の成果が得られた。

分野	主な成果	数量等
1) 業務の開拓・提案 3) マッチング	福祉施設等との連携による社会貢献性や地域貢献性の高い業務の開拓	就労者数：72人 うち 派遣：37人 有料職業紹介：9人 請負：16人 就労相談：10人
2) 就労高齢者の募集・支援	柏市が市役所内に設置したセカンドライフ応援窓口との連携強化による新規会員の獲得	セカンドライフ応援窓口経由の新規会員：63人（平成27年度）
4) 継続支援	既存会員も対象とした人材データベースの構築	会員数：H27. 4. 1時点 1,346人 H28. 3. 1時点 1,623人 (男性1,037人→1,233人) (女性309人→女性390人)

- また、柏市センター、柏市、東京大学高齢社会総合研究機構（以下、IOG）の3者による協議の場を月1回程度設け、情報共有および方向性の議論を継続した。

② 他地域センターとの連携

[H27年度計画概要]

- 柏市センターのJC2名をJC普及員として茅ヶ崎市センターへ派遣し、茅ヶ崎市センターで雇用されたJCにそのスキルの移植（実装）を行う。
- 茅ヶ崎市センターでは4～6月でJC2名を公募・採用（JCの財源は内閣府の地方創生先行型交付金を茅ヶ崎市が獲得し、茅ヶ崎市センターに補助）し、7～9月でJC普及員が講師となり、研修及びOJT教育を実施する。
- 茅ヶ崎市センター、茅ヶ崎市、IOGの3者による協議の場を適宜設置し、関係者間で事業の進捗状況及び今後センターが向かうべき方向性を共有しながら、実装する。

- ・ 3か月に1回程度、横浜市センターおよび関係者を交えた協議の場を設置する。

[H27年度実施事項]

- ・ 柏市センターにおいて取り組んできたJCの配置と活動実践の成果を他地域展開するため、茅ヶ崎市センター及び茅ヶ崎市役所との連携を推進し、柏市センター同様の取り組みに着手した。
- ・ H27年7月に3名のJCが茅ヶ崎市センターに雇用され、茅ヶ崎市センター、茅ヶ崎市、IOGの3者で連携しながら、研修およびOJT教育を実施の後（OJT教育には、柏市センターのJCもJC普及員として参画）、茅ヶ崎市センターへのJCスキルの移植（実装）を図った。
- ・ その結果、1)については市内企業等への新たな業務開拓、2)についてはH27年10月の茅ヶ崎市役所内への「生涯現役応援窓口」開設およびH27年11月およびH28年2月のセカンドライフセミナー開催、3)については派遣事業の契約実績、4)については会員を対象としたアンケート調査などで、一定の成果が得られた。

分野	主な成果	数量等
1) 業務の開拓・提案 3) マッチング	市内企業等への新たな業務開拓	就労者数：10人
2) 就労高齢者の募集・支援	生涯現役応援窓口の開設 セカンドライフセミナー開催	H27.10月～@市役所1階ロビー H27.11月・H28.2月（各3日間の連続講座）
4) 継続支援	会員を対象としたアンケート調査の検討	対象会員数：916人

- ・ また、柏市センターおよび茅ヶ崎市センターでの活動事例などを参考に、課題及びその解決のためのプロセスを共有し、JCによる生きがい就労の社会実装を円滑に進めるため、柏市センター、茅ヶ崎市センター、横浜市センターおよび各行政関係者を交えた情報交換会を計2回開催した。この情報交換会には、厚生労働省職業安定局、全国シルバー人材センター事業協会、松山市シルバー人材センターなどにもオブザーバー参加いただくことができ、有意義な情報提供を受けるとともに、各センターの取り組みを発信する機会となったほか、この情報交換会を通じて、センター間や行政間での自発的な交流が生まれ、新たな協力関係が構築された。

日付	名称	議題	参加者
H27.9.10	シルバー人材センターにおける先進的な取り組みに関する情報交換会（第1回）	・就労先拡大のための取り組みや課題 ・会員獲得のための取り組みや課題 ・派遣事業への取り組みや課題	・柏市&センター ・茅ヶ崎市&センター ・横浜市&センター ・厚生労働省 ・松山市センター
H28.2.3	シルバー人材センターにおける先進的な取り組みに関する情報交換会（第2回）	・幅広い仕事に対応するための取り組みや課題 ・より広く市民に訴求するための取り組み	・柏市&センター ・茅ヶ崎市&センター ・横浜市&センター ・厚生労働省 ・全国シルバー人材セ

	や課題	ンター事業協会
--	-----	---------

③ ジョブコーディネータ・マニュアルの作成

[H27年度計画概要]

- ・ JCによる実践活動が他地域でも展開できるよう、複数センターでのJCの日々の活動を記録し、その成果と課題を整理し、マニュアル化を図る。

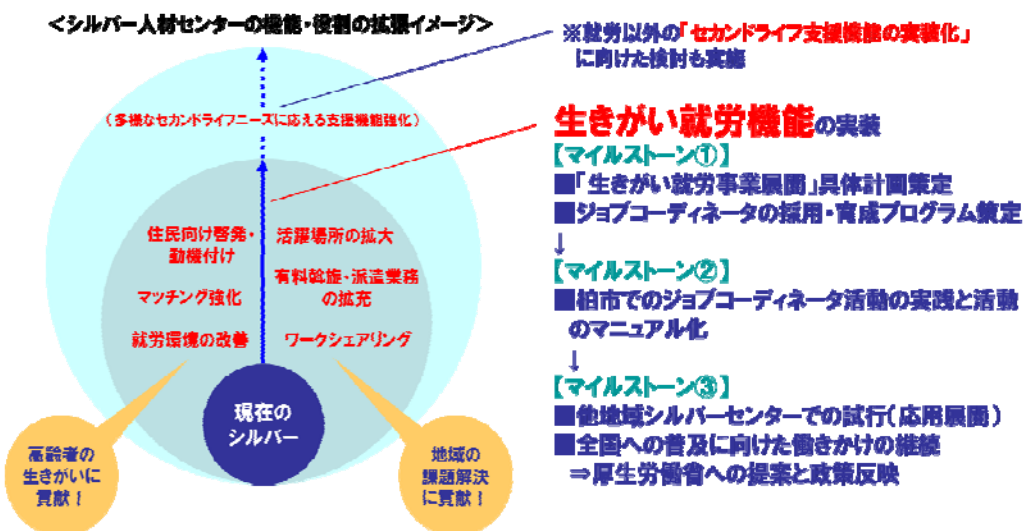
[H27年度実施事項]

- ・ 柏市センターや茅ヶ崎市センターにおける生きがい就労の取り組みを整理し、他地域で同様の取り組みを展開する際の参考とできるよう、生きがい就労の実装やJCの活動過程をまとめた「生きがい就労実装マニュアル」を作成した。

④ センターのあり方・機能拡充に関する研究

[H27年度計画概要]

- ・ 柏・横浜・茅ヶ崎の3都市において、それぞれ異なるスキームで実施されるプラットフォーム事業を比較検討し、研究することにより、プラットフォーム事業を実施する際のセンターの役割及び機能について明らかにする。（下図の水色部分（就労以外の「セカンドライフ支援機能の実装化」に向けた検討の部分）に該当。）



- ・ 就労の場の発掘にあたっては、新規業務の創出も有効である。そのための行政とセンターとの協働検討体制を茅ヶ崎市センターにおいて試行的に構築し、協働検討の体制、プロセス、必要情報、検討の視点等の新規雇用又は業務を創出する際の必要要件について検討を行う。

[H27年度実施事項]

- ・ 当実装活動においては、生きがい就労のノウハウ・機能をセンターに組み込むことに主眼を置いているが、シルバー人材センターが本来担うべき役割として、地域社会の活性化への貢献も挙げられる。
- ・ 柏市センター、茅ヶ崎市センター、横浜市センターは、いずれも高齢者を仕事や活動などの社会参加に繋ぐことができる窓口（プラットフォーム事業）の運営または連携に取り組んでいることから、それぞれの事業スキームを比較研究した。
- ・ その結果、特徴や相違点が明らかになり、他地域センターがセカンドライフの総合

支援機能に拡充しようとする際に参考となる知見が得られた。

センター	プラットフォーム事業との関係	特徴	メリット
柏市センター	連携先	連携型	センターの会員獲得や高齢者を就労に繋ぐルートの1つとして有効に機能。
茅ヶ崎市センター	運営主体 (市より受託)	一体型	センターが就労と非就労の双方のニーズに対応し、より多くの高齢者と接点を確保。
横浜市センター	運営主体 (市より受託)	独立型	センターが本体事業とは一線を画しながら、プラットフォーム事業のノウハウを蓄積。

- また、全国シルバー人材センター事業協会が公表している統計資料や各シルバー人材センターの公表情報、シルバー人材センターを対象とした先行研究についての情報を収集し、地域高齢化率の伸びに対する入会率の伸び状況、派遣事業の割合、独自事業内容等の分析を行った。
- その上で、都市部で粗入会率を伸ばしているセンター、先進的な取り組みを実施しているセンターを抽出し、ヒアリングを実施した。

ヒアリングを実施したセンター	特徴	その背景
松山市センター	<ul style="list-style-type: none"> 派遣事業の先駆事例 サロン（高齢者の自主的なビジネス）の運営支援 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な営業活動と適切なマッチング体制（派遣元責任者はキャリアコンサルタント資格保有） 高齢者の自主的なビジネスを黎明期から支援
養父市センター	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の担い手 国家戦略特区（臨短軽規制緩和） 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化および人口減少という中山間地ならではの地域課題解決への高い意識と行政との適切な連携
芦屋市センター	<ul style="list-style-type: none"> 顕著な会員増加 多数の独自事業 	<ul style="list-style-type: none"> 狭義の就労のみならず、会員提案による地域貢献度の高い取り組みを積極的に支援
伊勢原市センター	<ul style="list-style-type: none"> 顕著な会員増加 	<ul style="list-style-type: none"> 会員が中心となった魅力的なイベント（旅行、同好会）による親睦

- センターと行政との協働検討体制については、茅ヶ崎市センターでのJCの研修の一環として試行的に実施した。行政という主体の性格上、個別事業者へのアプローチについては関与できる限界はあるものの、分野毎の事業所を取り巻く制度改正等の情報提供や業界全体の傾向に関する意見交換は、JCが業務開拓を行う際の業界研究として有用であった。

⑤ 厚生労働省への報告・働きかけ

[H27年度計画概要]

- 柏市センター、横浜市センター、茅ヶ崎市センターでの活動等の成果について、厚生労働省に適宜報告し、「生涯現役社会実現」に向けた政策づくりに向け働きかけを行う。

[H27年度実施事項]

- ・ 柏市・茅ヶ崎市・横浜市の各センターを交えた情報交換会に厚生労働省にご同席いただき、情報共有および経過報告を図った。

3. 理解普及のための活動とその成果

(1) 展示会への出展等

特になし

(2) 研修会、講習会、観察会、懇談会、シンポジウム等

年月日	名称	場所	概要	ステークホルダー	社会的インパクト
H27年4月7日	柏市センター入会説明会	柏市センター会議室	柏市センターでの生きがい就労の取り組み紹介（参加者37人）	高齢者	
H27年4月21日	柏市センター入会説明会	柏市センター会議室	柏市センターでの生きがい就労の取り組み紹介（参加者24人）	高齢者	
H27年5月7日	柏市センター入会説明会	柏市センター会議室	柏市センターでの生きがい就労の取り組み紹介（参加者17人）	高齢者	
H27年5月18日	柏市センター入会説明会	柏市センター会議室	柏市センターでの生きがい就労の取り組み紹介（参加者13人）	高齢者	
H27年6月15日	柏市センター入会説明会	柏市センター会議室	柏市センターでの生きがい就労の取り組み紹介（参加者34人）	高齢者	
H27年7月15日	柏市センター入会説明会	柏市センター会議室	柏市センターでの生きがい就労の取り組み紹介（参加者27人）	高齢者	
H27年8月17日	柏市センター入会説明会	柏市センター会議室	柏市センターでの生きがい就労の取り組み紹介（参加者31人）	高齢者	
H27年8月25日	柏市センター入会説明会（女性）	柏市沼南支所	柏市センターでの生きがい就労の取り組み紹介（参加者51人）	高齢者	
H27年9月15日	柏市センター入会説明会	柏市センター会議室	柏市センターでの生きがい就労の取り組み紹介（参加	高齢者	

			者27人)		
H27年10月15日	柏市センター 入会説明会	柏市センター会 議室	柏市センターでの生きがい 就労の取り組み紹介 (参加 者31人)	高齢者	
H27年10月19日	柏市センター 入会説明会	柏市センター会 議室	柏市センターでの生きがい 就労の取り組み紹介 (参加 者30人)	高齢者	
H27年11月16日	柏市センター 入会説明会	柏市センター会 議室	柏市センターでの生きがい 就労の取り組み紹介 (参加 者24人)	高齢者	
H27年12月15日	柏市センター 入会説明会	柏市センター会 議室	柏市センターでの生きがい 就労の取り組み紹介 (参加 者26人)	高齢者	
H28年1月15日	柏市センター 入会説明会	柏市センター会 議室	柏市センターでの生きがい 就労の取り組み紹介 (参加 者16人)	高齢者	
H28年1月20日	柏市センター 入会説明会	柏市沼南支所	柏市センターでの生きがい 就労の取り組み紹介 (参加 者9人)	高齢者	
H28年2月15日	柏市センター 入会説明会	柏市センター会 議室	柏市センターでの生きがい 就労の取り組み紹介 (参加 者27人)	高齢者	
H28年3月15日	柏市センター 入会説明会	柏市センター会 議室	柏市センターでの生きがい 就労の取り組み紹介 (参加 者32人)	高齢者	
H27年11月16日	セカンドライ フセミナー	茅ヶ崎市センタ ー会議室	茅ヶ崎市センターでの生き がい就労の取り組み紹介 (参加者13人)	高齢者	
平成27年12月 9日	豊かな長寿社 会シンポジウ ムー生涯現 役社会への期 待ー	茅ヶ崎市役所コ ミュニティホー ル	シニアに対する生涯現役社 会への意識付け及び活動の 場の運営者に対してシニア の活用可能性の周知 (参加者 約250人)	高齢者、 活動の場 の運営者	
H28年2月17日	セカンドライ フセミナー	茅ヶ崎市センタ ー会議室	茅ヶ崎市センターでの生き がい就労の取り組み紹介 (参加者27人)	高齢者	

(3) 新聞報道、TV放映、ラジオ報道、雑誌掲載等

①新聞報道

毎日新聞「シニアの活躍を応援茅ヶ崎市が相談窓口」 H27.10.2 朝刊 24面

神奈川新聞湘南版「『第二の人生』どうする？シニア男性活躍応援」H27.10.14朝刊

朝日新聞「シニア層活躍 後押し」H27.10.20 朝刊 28面

熊本日日新聞社「高齢者の生きがい就労」H27.10.26掲載

日本経済新聞社「シニアのワークシェア」H27.12.12掲載

共同通信社「高齢者の生きがい就労」H27.12～H28.2掲載

②TV放映

TBS「あさチャン」 “人生90年！生涯現役の働く高齢者たち” H27.7.21放映

NHK「時事公論」 “健康長寿社会への道すじ” H27.9.22放映

③ラジオ報道

NHKラジオ第一「日曜訪問」 “変わるシルバー人材センター” H27.5.17放送

④雑誌掲載

特になし

(4) 論文発表 (国内誌_____件、国際誌_____件)

特になし

(5) WEBサイトによる情報公開

特になし

(6) 口頭発表 (国際学会発表及び主要な国内学会発表)

特になし

(7) 特許出願

特になし

(8) その他特記事項

特になし